

## 春の鶏の管理

3月から5月にかけては、気温が上昇し、日照時間がのびてくるため鶏の健康が快復し産卵能力が増大され、1年中を通じ最も活気のある時期です。

◎冬の期間は寒気と日照時間の不足、飼料の摂取量、緑餌の給与量の不足等による体力の消耗が著しいため良質の飼料を充分与え、ビタミン、ミネラル等微量栄養素の多給のため緑餌、腐蝕土等を必ず給与し、体力の快復を図る必要があります。

◎この時期は多産期であり殆んどの鶏が産卵する時期ですが、中には先天的に産卵能力の低いもの、又は、病気その他により産卵しないものがありますので、農繁期で多忙な時期ですが、必ず観察を充分にして淘汰を実施すべきであります。(秋期点灯したものは例外とする。)

◎3月上旬頃より外界は温度、湿度共に昇り、室内の換気が不良となりますので適切な扉の開閉を行なって漸次全開放とします。またこの時期は害虫の発生、鶏舎周囲、鶏舎、付属器具等が不潔になり易いため、排水、殺虫、消毒を行なうのと同時に鶏痘の予防接種(6月)の準備をすべきであります。

◎次に鶏舎周囲の清掃には排水溝を設け、鶏糞等不潔物を出来る限り取り除きBHC、DDTの散布を行ない、鶏舎その他付属器具はクレゾール石鹼液3—5%水溶液又はバンゾール100—200倍液で、給餌器、給水器は逆性石鹼液を用いて消毒します。

◎又この時期は鶏にとって最も健康状態の良い時であるためケージバタリー等に移動する必要がある場合にはできる限り早い時期に行なった方がよろしい。但し不必要な移動は極力避けることです。

◎駆虫についてもこの時期に、蛔虫や条虫の駆除をしましょう。

◎更に春雛の育雛時期になりますから、育雛に悪影響のないよう衛生的に管理する必要があります。